

003

哲学初歩 (35)

大人の知恵としてのモンテーニュ『エッセー』

講座内容

前回、三木清の『パスカルにおける人間の研究』を読みました。これは、西田幾多郎の弟子で、若くしてドイツでハイデガーに学んだ三木が、パリで構想したパスカル論です。そのパスカルと三木は、モンテーニュを強く批判しました。ところでモンテーニュですが、なかなか面白いおじさんです。誠実で謙虚で、そして何でも面白がる不思議な人です。真面目でいて、不真面目です。モンテーニュを通して、成熟した知恵とは何か、生きるとはどういうことか、を考えることにしましょう。

期 間	5月9日～7月4日	受講料	7,500円
曜 日	木曜日	定 員	40名
時 間	14:00～16:00	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全5回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回レジュメやプリントを用意します。		
備 考	三木清についても、もちろんモンテーニュについても予備知識は要りません。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	5月 9日 (木)	はじめにーモンテーニュとその時代 モンテーニュにとって『エッセー』は何であったか？
2	5月23日 (木)	モンテーニュの文明観 近代文明は野蛮より優れているといえるか？
3	6月 6日 (木)	モンテーニュの教育論 教育において大事なことは何か？
4	6月20日 (木)	モンテーニュの死生観 モンテーニュは、老いや死についてどう考えたか？
5	7月 4日 (木)	おわりにー善く生きるということ 哲学とは何か？ 人間とは何か？

講師紹介



杉田 正樹(すぎた まさき)

本学名誉教授

このところずっと、言語の哲学に強い関心をもっています。哲学の営みも、広く人間の営みも、言語なしでは在り得ません。沈黙することすら、言語があって始めて成り立ちうのです。言語の観点から三木の哲学に挑戦してみたいと思います。